

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2016-169472(P2016-169472A)

【公開日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-056

【出願番号】特願2015-47817(P2015-47817)

【国際特許分類】

E 04 B 9/00 (2006.01)

E 04 B 9/30 (2006.01)

【F I】

E 04 B 5/52 U

E 04 B 5/60 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月23日(2018.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

壁に固定される支持板の上に天井板の端部を載せて支持する天井構造であって、

前記支持板の上面と前記天井板の端部下面との間に領域を分割して離間させて配置された粘弾性体と、

前記壁に前記支持板より上位に固定され、前記天井板の端部上面を案内する案内板と、を備えることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項2に記載の発明は、

請求項1に記載の天井構造であって、

前記案内板の下面と前記天井板の端部上面との間に領域を分割して離間させて配置された粘弾性体を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

壁に固定される支持板の上に天井板の端部を載せて支持する天井構造であって、

前記支持板の上面と前記天井板の端部下面との間に領域を分割して離間させて配置された粘弾性体と、

前記壁に前記支持板より上位に固定され、前記天井板の端部上面を案内する案内板と、を備えることを特徴とする天井構造。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記案内板の下面と前記天井板の端部上面との間に領域を分割して離間させて配置された粘弾性体を備えることを特徴とする請求項1に記載の天井構造。